



お宮町界隈の桜を巡る

ぐるり半日
お散歩コース

桜花匂う卯月。
今年もお宮町に春が巡って来ました。
春の楽しみは多々あれど、外せないのはやっぱり「桜」。私たちが暮らす宮町で桜といえば、毎年恒例「東六小の桜と音楽を愛でる会」(4月15日に開催)の会場・東六番丁小や仙台東照宮だけだと思いがち。しかし、目を凝らし地域を歩けば桜の見どころは案外、身近にあるのだと気づかされます。

今号の巻頭特集は「お宮町界隈の桜を巡る〜ぐるり半日お散歩コース〜」と題し、街の中でけなげに咲く桜を訪ね歩きます。そこから見えてくるのは都市の来歴だったり、自分のイメージに刺戟を与える地形、界隈の甘味処など実にさまざま。
やわらかな風に足取りが軽くなるこの季節。純粹に桜を楽しむ粋人も、花より団子派の人も038プレスを手には、街をそぞろに歩いてみてはいかがでしょう。

歩数：9,272歩
ゆっくり回っても
2時間程度のコースです。

スタート

①延壽院



スタートは仙山線東照宮駅南側、梅田川沿いに位置する延壽院から。創建は万治3年(1660)に東照宮の別当である仙岳院の傍院として建立されました。門をくぐると高さ7mほどの桜が左右にあり、寺全体を覆うように見事に咲いています。

5分

②仙台東照宮



鳥居をくぐるとすぐ、参道の入口付近、赤い橋の左右に咲く桜が参拝客をお出迎えしてくれます。石段の左右には石灯籠が並び、上から桜の花が滝のように石段と石灯籠に向かって降り注ぐ姿は圧巻です。拝殿脇のしだれ桜は、高さが15m程で、枝の長ささと花のボリュームといい、雄大な滝のようで見えます。

5分

③サンライズ東照宮エントランス



東照宮から五城中の裏側の細い径いにも桜があり、目を楽しませてくれます。東照宮から5分ほど歩くと右手に大型マンション「サンライズ東照宮」のエントランスに出ます。ここには高さ15m程の見事な桜が3本、小ぶりな桜が4本あり、道行く人々を和ませてくれます(住人以外は敷地内に立ち入れません)。

3分

④五城中裏側の踏切



仙山線線路沿い、踏切の西側は、線路の微妙なカーブと桜がマッチしていて「撮り鉄」の撮影ポイントです。

10分

⑤上杉杜の公園



北四番丁沿いの西友の裏の住宅地の中にある小さな公園。ここには高さ12m程の形といい、大きさといい、見事なしだれ桜があります。東屋に腰を下ろし、ゆったりと桜を愛でてみませんか。

5分

⑥松尾神社



延享2年(1745)に伊達宗村の命により建てられ、天保12年(1841)に伊達家が京都松尾大社から二柱を新たに勧請し松尾神社になりました。戦災で全焼し、昭和31年に酒造家らにより社殿が復興され、酒造神業祖神として由緒ある神社です。社殿脇に5本の桜があり、参拝客の目を楽しませてくれます。

5分

⑦上杉公園



上杉コミュニティセンター東隣に位置する大きな公園です。昭和4年までこの地に東北高校の前身である東北中学校がありました。様々な樹木があるなかで、17本もの桜が植えられており、満開時は見事です。

10分

⑨東六番丁小学校



終点はこの地域のシンボルツリーである東六小学校のエドヒガン桜です。この桜は樹齢380年を超えており、仙台市の保存樹木に指定されている銘木です。1654年、東照宮の仮宮であった当地に植えられ、明治16年の学校移転以来、学校のシンボルとなりました。井晩翠作詞の校歌にも歌われ、県内屈指の桜と言えます。

ゴール

5分

⑧花京院緑地



花京院スクエアの南側にある、都会のオアシス的なスポット。高層ビル群に囲まれた公園を取り囲むように15本ほどの桜が植えられており、昼休みの時間帯にはお弁当を広げるサラリーマンの姿も見られます。

